

グローバルに羽ばたく第一歩！ 農学部AIMSプログラム

ASEAN発、環境に配慮した食料供給・
技術革新・地域づくりを担う次世代人材育成



東京農工大学
派遣募集説明会
2022年12月



はじめに：農学部AIMSプログラムとは

0. 来年度の留学プログラムはどうなる？
1. どんなプログラム？
2. 誰が対象？
3. 留学先は？
4. 費用は？
5. 応募するとしたらどんな流れ？
6. どんな変更があり得る？
7. 注意事項は？



0. 近年の状況と今後の見通し

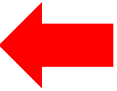
2019年度		派遣先	人数	募集	実施
8～9月	夏季短期派遣	シンガポール	12	○	○
8～1月	セメスター派遣	インドネシア, タイ, フィリピン, マレーシア	9	○	○
9～1月	セメスター受入	上記協定校からの留学生受入	13	○	○
2～3月	春季短期派遣	タイ, シンガポール, ニュージーランド等	60	○	×

2020年度： 全て中止

2021年度		派遣先	人数	募集	実施
8～9月	夏季短期派遣	—	—	—	—
8～1月	セメスター派遣	インドネシア, タイ, フィリピン, マレーシア	3	○	2(タイ)
9～1月	セメスター受入	上記協定校からの留学生受入	10	○	×
2～3月	春季短期派遣	—	—	—	—

2022年度		派遣先	人数	募集	実施
8～9月	夏季短期派遣	—	—	—	—
8～2月	セメスター派遣※	インドネシア, タイ, フィリピン, マレーシア	9	○	○
9～12月	セメスター受入	上記協定校からの留学生受入	5	○	○
2～3月	春季短期派遣	タイ, ニュージーランド, UCデービス, ハワイ等	29	○	○?

2023年度		派遣先	人数	募集	実施
8～9月	夏季短期派遣	実施予定		○	○?
8～2月	セメスター派遣※	インドネシア, タイ, フィリピン, マレーシア	12	○	○
9～12月	セメスター受入	上記協定校からの留学生受入	8?	○	○?
2～3月	春季短期派遣	実施予定		○	○?



※2022年12月1日時点 (今後変更の可能性有)

0. 今年度の状況は...



- 新型コロナウイルス感染拡大により今後の見通しが不透明
➡ 海外派遣プログラムを実施予定だが、状況によっては見直しもあり

➡ 派遣期間や派遣内容, スケジュール変更, 派遣中止の可能性

👉 十分に理解いただいた上で, 取り組める人を募集



1. AIMSプログラムとは



AIMS(エイムス) Program =
Asian **I**nternational **M**obility for **S**tudent Program
...ASEAN地域内＋日本の学生交流

農工大AIMSプログラム「**ASEAN発、環境に配慮した食料供給・技術革新・地域づくりを担う次世代人材育成**」
(文部科学省「**大学の世界展開力強化事業**
～海外との戦略的高等教育連携支援～」採択事業)



東京農工大学
茨城大学
東京都立大学

交換留学
⇄
協働教育

タイ
インドネシア
マレーシア
フィリピン
ベトナム
などの協定大学

1. プログラム内容

- 本プログラムは、派遣先大学での単位取得(最低12単位を履修)を目的として、本学の学生を1セメスター(約5か月)の期間、派遣するものです。
- 各学部・学科の必修科目・選択必修科目等を考慮して、所属学科のAIMS委員や教育委員およびAIMSプログラムのコーディネータと密に調整しながら、派遣先大学での受講科目について学生本人が確定する必要があります。
- 上記の科目受講の他に、現地の文化体験、現地学生との交流等の活動を行います。(その他インターンの扱いは、派遣先大学によって若干異なります)



2. 対象者

対象： 3～4年生（派遣時）、共同獣医学科のみ5年生

※応募は派遣前年度後期（現時点で2年生、共同獣医4年生対象）

定員： 12名程度

期間： 1学期間（8,9月～12,1,2月頃）※派遣先大学によって異なる

※コロナ禍では特に変更の可能性大

応募条件：

- ✓ 英語力（TOEFL(iBT) 61点以上、TOEFL(PBT) 500点以上（ITPテスト含む）、IELTS 5.0以上）
- ✓ GPA 2.5以上
- ✓ 事前学習への参加
- ✓ 帰国後の報告や、留学生支援や国際イベント等の参加

選考：書面・面接審査により学力・語学力・志望動機・抱負等を総合的に評価




3. AIMS派遣先の国と大学

AIMSプログラム：農学部協定大学



3. 派遣先大学はどんなところ？

それぞれの特色を生かしてその国・その大学ならではの学びができます

国名	大学	学生数	所在地	言語	主な宗教	特色
インドネシア 	ボゴール農科大学	約25,000人	地方都市 郊外	インドネシア語 英語	イスラム教	農学及び生命科学の分野では、インドネシア高等教育において最先端。特に食品化学分野が強い。
	ガジヤマダ大学	約56,000人	地方都市 市内	インドネシア語 英語	イスラム教	インドネシアで最も古い国立大学。留学生も含め、さまざまなバックグラウンドを持つ学生と出会える。
タイ 	カセサート大学	約58,000人	都市部 中心	タイ語 英語	仏教	タイで最初の農業大学で最も規模の大きい大学の一つ。農学部にインターナショナルコースを設置している。
フィリピン 	フィリピン大学 ロスバニョス校	フィリピン大学全体で 約53,000人	地方都市 郊外	英語 タガログ語	キリスト教	フィリピン大学のブランチの1つ。農業を専門としたキャンパスで毎年トップ10に入る名門校。
マレーシア 	プトラ大学	約26,000人	都市部 郊外	マレー語 英語	イスラム教	農業大学として創設され現在は高等教育機関として中心的な役割を担う。郊外に広大な敷地を有し、その広さはアジア有数。
	マラー工科大学	約170,000人	都市部 郊外	マレー語 英語	イスラム教	マレーシアで最も古い理工系大学。国内における工学系人材の3分の2を輩出する国立の研究重点大学。

4. 費用



原則自己負担

- 大学間協定を締結している協定校への留学を行うため、入学料・授業料は不徴収となります。ただし、農工大での身分は変わらないため(休学などではなく在籍扱いとなる)通常通り本学に学費を納入する必要があります。
- 奨学金「JASSO海外留学支援制度協定派遣奨学金」については、受給資格のあるものに対して支給の可否が決定し手続きを行います。
金額: 7万円/月(受給型)
条件: GPS2. 3以上, 日本国籍保有者
- 渡航費、パスポート申請費用、査証(VISA)取得に係る費用、海外旅行保険の加入に係る費用、現地での宿泊費、国内・現地での移動に係る経費(通学費、現地の空港から/までの交通費を含む)、飲食費(朝・昼・夕)、お小遣い、土産代など。奨学金額を超える部分は、自己負担での支出となります。
- 渡航費については、一部、大学から補助される可能性があります。(参考: 2021年度は大学が渡航費の5割を負担)

5. AIMSセメスター派遣の流れ

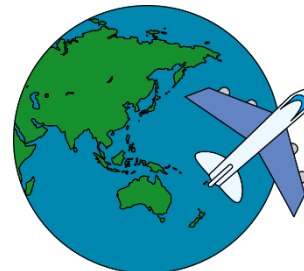
2022年12月：	説明会
12月：	募集開始
2023年 1、2月：	応募締切、書類・面接審査
2月：	選考結果通知
3～5月：	派遣先大学申請手続き
6～7月：	派遣前研修、渡航準備
7月末／8、9月：	出発！
12月／1、2月：	帰国
2024年2～3月：	帰国後手続き(報告・単位)

学内手続き

学内・学外手続き

参考

※来年度は、
予定通り進まない
可能性もあるため
状況に応じて調整



5.この後どうなる？(この先10ステップ)

1. 募集要項を入手し、内容を確認する
2. これまでセメスター派遣に行った先輩などに聞いてみる
3. GIOに相談する／過去の資料などを見に来る
4. 申請書を作成し、提出する
5. 書類審査、面接審査を受ける
6. 派遣が決まったら、派遣先大学のアプリケーションを作成する
7. 渡航前研修を受ける
8. 派遣先大学での履修、住居、航空券手続きをする
9. ビザの申請をし、受け取る
10. 渡航準備をする
いざ出発！



参考

その後どうなる？(更に10ステップ)

※参考までにこれまでの例です。

1. 現地到着後必要な手続きを行う(住居、ビザ、学生証その他)
2. オリエンテーション等に参加し、履修を確定する
3. 授業履修、その他様々な活動に参加する
4. 毎月の奨学金の手続き、報告書をメールで送る
5. 中間試験、期末試験を受ける
6. 帰国準備を行う(住居、ビザ、航空券など)
7. 帰国！おかえりなさい
8. 学内手続きを行う(単位認定、報告書、アンケート)
9. そこで得た経験・学びを次につなげる(体験談、次の留学etc.)
10. 今いる自分よりも成長している？！



6. 具体的にどんな変更があり得る？



1. 派遣先の変更

- 渡航先国の新型コロナ感染拡大状況が深刻な場合
- 海外協定校において留学プログラムを実施しない場合
- 新学期開始時期及び開講形態(オンライン等)が変更になった場合等

2. 渡航時期の変更

- 海外協定校の新学期開講時期が遅れた場合
- 自主隔離費用・航空券確保等, 費用面でこれまでの実施状況と大きく異なった場合等

3. 派遣内容の変更

- 履修登録タイミングのずれや渡航時期変更等により通常科目の履修が叶わないが, 派遣先大学の研究室におけるインターンの受入が可能な場合等

4. 渡航の中止

- 本国外務省, 文科省等官公庁からの指針及び, 本学における「海外渡航・留学再開についてのガイドライン」の条件を満たさない場合
- 渡航先国の緊急事態宣言の発出や, 入国制限が緩和しない場合
- 上記に関わらず本学としてプログラム実施の安全性の確認が不十分と判断した場合等

7. 注意事項

1. 本プログラムは外務省，文科省等官公庁からの指針及び，本学における「海外渡航・留学再開についてのガイドライン」に則り実施
2. 派遣期間，派遣先，派遣内容，スケジュール等の変更や，派遣中止の可能性有
3. 上記変更の際して，適切に情報を共有しつつ柔軟に対応できる能力が必要
(不確定な状況に対応するのが非常なストレスとなる人には不向き)
4. 上記1～3について，保護者の方とも適切に情報を共有の上ご理解頂いて下さい(誓約書その他に署名が必要)



応募申請方法

1. プログラム申請書を記入する。

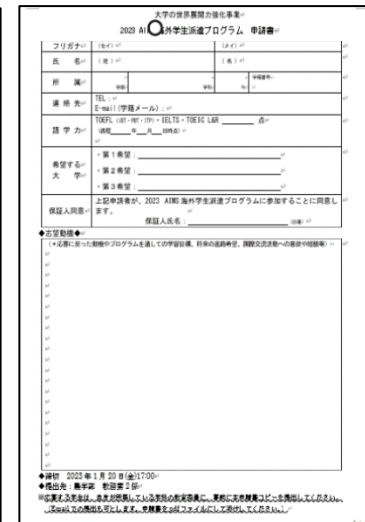
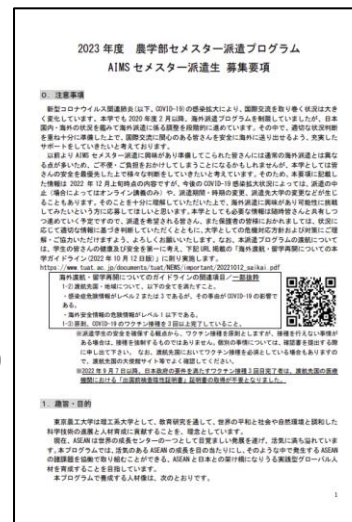
※保護者の署名が必要

2. 応募書類をそろえる。

英語力を証明できるもの(コピーを提出すること)

成績証明書

パスポートのカラーコピー(ある人のみ)



データはWeb掲示板にて入手可能

3. 2023年1月20日(金)17:00までに農学部教務第2係に提出する。

今後の日程(予定):

応募締切

2023年 1月20日(金) 17:00

第1次選考合格発表

2023年 1月27日(金) 予定 ※面接日時を連絡

第2次選考(面接)

2023年 1月31日(火)・2月2日(木) 終日予定

最終選考結果内定

2023年 2月中旬 内定発表予定

まとめ：農学部AIMSプログラムとは

0. 来年度の留学プログラムはどうか？

➡募集は行すがその後の派遣については変更の可能性有

1. どんなプログラム？

➡海外協定校で1学期間に最低12単位を履修し、本学で振替え・認定

2. 誰が対象？

➡派遣時に3年次に在籍(現時点で2年次に在籍)＋英語力＋GPA

3. 留学先は？

➡AIMS農学部海外協定校の4か国6大学

4. 費用は？

➡学費は本学に納入，奨学金によるサポート有

5. 応募するとしたらどんな流れ？

➡1月に申請書を提出をし，書類審査・面接を経て内定した後，海外協定校との手続きを進める(状況によって調整)

6. どんな変更があり得る？

➡派遣先の変更，派遣時期の変更，派遣内容の変更，渡航の中止等

7. 注意事項は？

➡様々な変更の可能性が高いことを理解し柔軟に対応できる能力が必要



AIMSに関する質問・相談は・・・

プログラムコーディネータ(留学計画全般・派遣先大学等に関する相談)

横森佳世(よこもりかよ) yokomorikayo@go.tuat.ac.jp

Global Information Office(農学部本館1階)＊事前アポを取ってもらうと確実

AIMS委員(学科での履修計画等に関する相談) 学生海外派遣・受入専門委員会

委員長: 桂 圭佑 kkatsura@go.tuat.ac.jp

教育委員会副委員長: 古谷 哲也 furuyat@cc.tuat.ac.jp

生物生産学科: 青木康浩 aokiya@go.tuat.ac.jp

応用生物科学科: 服部 誠 makoto@cc.tuat.ac.jp

環境資源科学科: 多羅尾 光徳 tarao@cc.tuat.ac.jp

地域生態システム学科: 金子 弥生 ykaneko@cc.tuat.ac.jp

加藤 亮 taskkato@cc.tuat.ac.jp

共同獣医学科: 田中 綾 ryoryo@cc.tuat.ac.jp

担当事務(応募用紙の記入・提出等に関する問い合わせ)

農学部教務係 042-367-5659 a-nyushi@cc.tuat.ac.jp

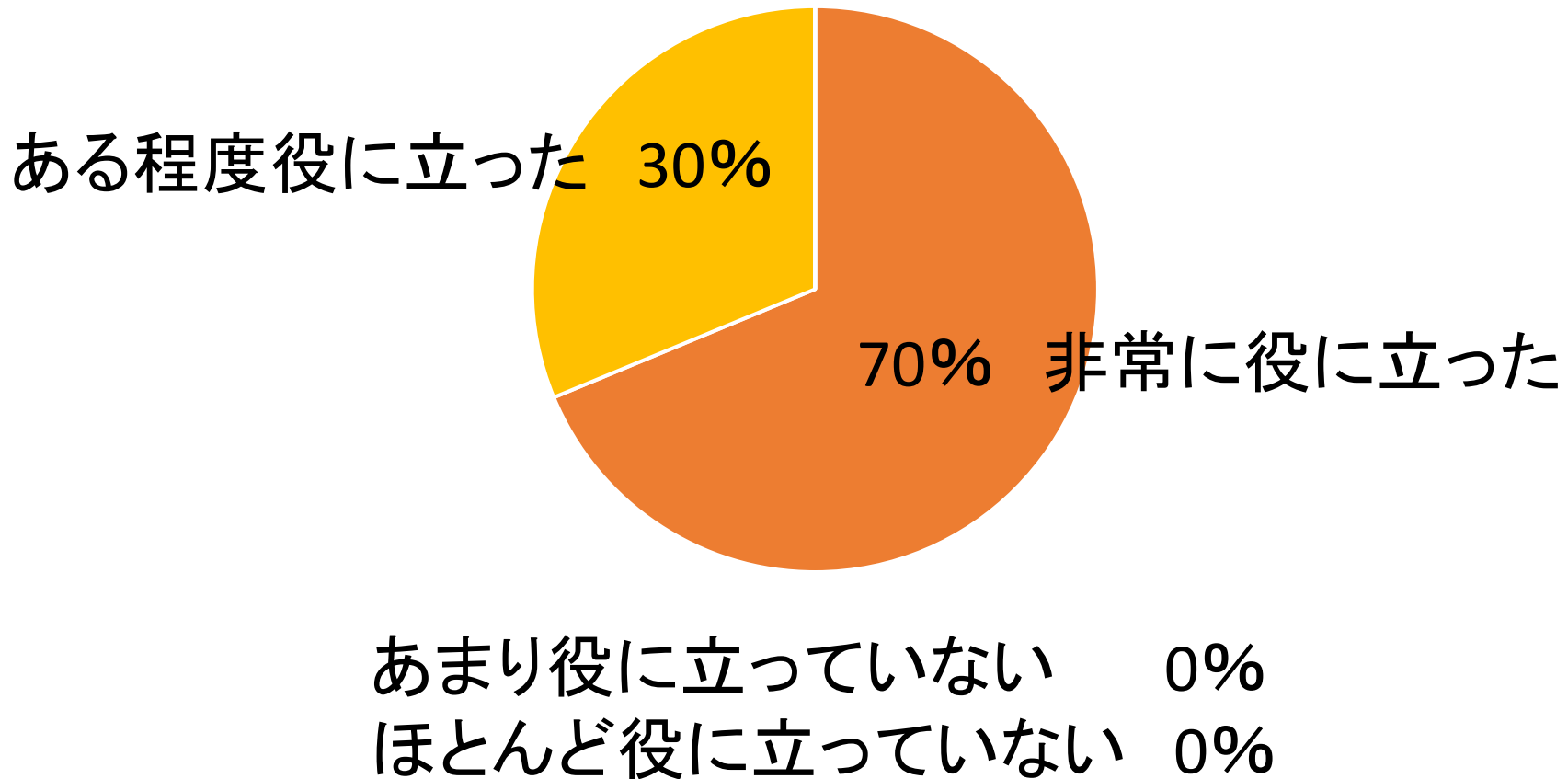
ご質問あれば遠慮なくご連絡ください

※迷っている方も、まずは早めにご相談ください



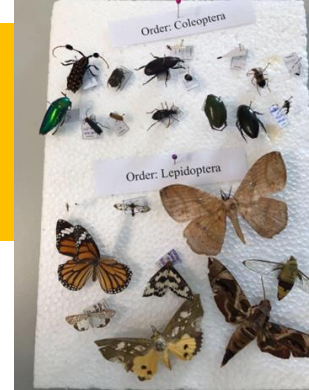
参考 セメスター派遣 修了者アンケートより

セメスター派遣は自分の人生にとって役に立ちましたか？



先輩からのメッセージ①

参考



3年生後期に半年間というタイミングは...

- AIMSプログラムの長期派遣のある3年後期は農工大での授業は少なく、研究室活動もそれほど忙しくないで、ぜひ参加すべきだと思う。専門分野を英語で学んで理解を深められる、英語・現地語が上達する、インターナショナルな友人ができる、日本とは全く異なる文化・慣習の国で貴重な経験がたくさんできる、などメリットは多い。奨学金も充実しているので、金銭面で心配することもない。
- 3年後期は授業が比較的少なく、研究室も本格的には始まっていない場合が多いと思うので、実は大学4年間の中で、まとまった期間日本から出てみる最大のチャンスです！人生の中の半年として得られるものを比べるときっと桁違いなので、留学なしに日本で過ごすのはもったいないと思います！
- ASEANの国々の学生はエネルギッシュな人が多く、非常に刺激を受けました。留学は今後の勉学のモチベーションの維持に大いに貢献すると私は考えます。また異国の地で長期間生活するのは不安だと思いますが、出会うものすべてが新しくワクワクして楽しめると思います。長い時間を取れる学生だからこそ、新しいことに積極的にチャレンジしてみたいはかがですか？留学の成果は与えられるものではなく、自分で掴むものです。皆さんの留学が実りあるものになるよう、心から応援しています！
- 留学は楽しい事ばかりではなく、大変な事ももちろんありますが、自分の軸をもっていけば大丈夫です。周りの人もきっと助けてくれます。私はもう社会人なのでそう簡単には留学できません。皆さんは何でもできるし何にでもなれます。学生時代に留学できる経験は何度もない貴重な機会だと思うので、迷っているのなら挑戦してみましよう。

先輩からのメッセージ②

参考

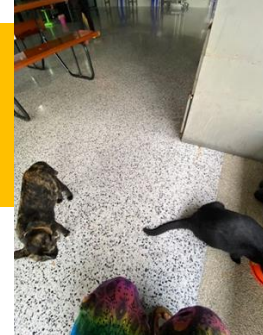


帰国後が心配...

- AIMSでの留学経験がどのように役立つかは人それぞれだと思いますが、人生のうち半年ぐらい東南アジアで暮らすのも悪くないです。東南アジアに暮らした人間にしか得られないたくましさやしぶとさは教科書では学べません。留学中や留学直後は気づかなかったのですが、**留学から数年経ってふと、あの時東南アジアに留学していたからこそ、他の人にはない自分だけの視点があることに気づかされることもあります。**語学や生活面で不安を抱えて一歩踏み出さないのは勿体ないです。驚かされることも多々ありますが、大抵のことは1ヶ月もすれば慣れます。
- 留学を迷っている学生には、迷わず今すぐAIMSへ申し込んでほしい。行けば必ず自身の人生へ非常に良い影響を受けるであろう。また、**就活や大学院入試にも想像以上に大きなプラスになる。**自分は外部の大学院を複数受けたが、入試の際に留学の経験と学んだ知識が筆記・面接共にかなり有利に働いた。某大学は留学経験がなければ筆記・面接共に通過できなかったであろう。留学にデメリットがないわけではない。地域生態システムであればプログラムが完成はかなり厳しいものとなる。現地で多少の苦労やトラブルもある。食事(特に香辛料やパクチーなど)が合わない人もおり、気候や衛生観、時間感覚を含めた文化の違いを受け入れにくい人もいだろう。しかし、それを上回る大きなメリットが留学にはある。海外の風土や文化は本やネットだけでは決して理解できない。いくら座学で勉強しても、現地に1度行ってみないことには「井の中の蛙大海を知らず」なのだ。なによりも、通常留学の壁となる「時間」「単位」「費用」の全てをクリアできる機会は、この先ないだろう。この貴重かつ有益なチャンスに、ぜひ挑戦してほしい。

先輩からのメッセージ③

参考



お金がかかる...

- 留年もせず、奨学金を頂きながら5カ月も留学できる環境はそれほどないと思うので、このプログラムをしっかり活用してほしいと思います。
- とりあえず、何かしておけばいいと思います。半年くらいなら授業受けなくても留年はないでしょう。あまり書くべきではないと思いますが、色々お金が大学で削られているなか、海外関係はかなりお金が出ているように感じるので、しておかないと損かなとも思いました。

英語力や海外生活に対して自信がない...

- 怖くても、行って1か月も生活すれば楽しくなってくるので、躊躇せず留学という機会を無駄にしないようにしてほしい。
- 行くまでは不安等で悩んでいても、行ってしまえば絶対に楽しいと思います。チャンスがあるなら、ぜひ留学を経験してほしいです。
- 日本人の学生にとって、留学すること、しかも1セメスターのような長期的な留学をすること、留学先で授業を受けて単位を取得してくること、というのはハードルが高いと思います。留学先での暮らしや食べ物が気になる学生もいるとは思いますが、多くは自身の英語力に対する不安から、留学をしない学生が多いと思います。一度悩んでしまうと、悪い方向にどんどん悩んでしまっ結果的にあきらめることが多いと思います。私も英語で授業を受けて単位をとる、ということは不安でしたが、あまり深く考えるとどんどん不安になっていくと思い、英語力などはさほど気にせず、なんとかなる、という気持ちでとりあえず応募しました。もし英語力が自信なくて迷っている学生がいるなら、その迷っている時間ももったいないです。英語力がないから、留学するのであって、最初から英語ができていれば語学留学など必要ありません。

先輩からのメッセージ④

参考



とはいえやっぱり不安...

- 留学を決めることで諦めなければならないことや周りに迷惑をかけることなど色々あると思います。私もそれらの大きさに、止めておこうかな...とっていました。でもギリギリになって、やっぱり後悔したくない！と思って応募したのを覚えています。留学が決まった時、捨てるものが大きい分、留学先でもっともっと大きなものを得てこようと思いました。それをモチベーションの一つにして、有意義な半年を送ることができたと思っています。私生活から離れる、という意味でも、留学はたくさんの方に気が付けてくれます。少しでも気になる気持ち、迷う気持ちがあるのなら、まず応募してみることをお勧めします。
- 留学は自分の世界を広げるチャンスです。大学ではこんな貴重なチャンスをもらえるのに、それを様々な理由で蔑ろにする学生が多く、勿体無いと感じることが何度もありました。せっかくのチャンスを棒に振るより、帰国後は何とかかなと思って頑張ってみてはどうでしょうか。
- なかなかできる経験ではないので、少しでも行きたいと思えば行く方がいいとおもう。
- 留学しなくて後悔することはあっても、留学して後悔することはないです。英語に少しでも興味があるなら、ぜひ頑張してほしいと思います。
- 留学をして損することは絶対にはないです。

